

風船かずら ～ 花言葉「一緒に飛びたい！」～



事業所訪問「スマイルコーン」

スマイルコーンは、津市榊原温泉近くにあるB型事業所です。事業所近くに田（2反）と畑、いちじくとスギナ、ドクダミを栽培されているハウス（7棟）があります。（写真後方に見えるのは榊原温泉病院）

伺った8月1日は、稲葉特別支援学校の先生が卒業生の働きぶりを見学に来られるということで、一緒することになりました。

熱中症警報が発令されている猛暑の中、水分摂取に留意しながら、モロヘイヤの収穫と出荷準備までを見学させていただきました。畑では、バターナッツという品種のカボチャも2個収穫。最近人気が出てきた品種で、ナッツのような風味とねっとりとした果肉が特徴で、繊維質が少なく、ポタージュにするととても滑らかに仕上がるそうです。帰って調べてみると一個1,000円前後もします。



1時間弱の収穫作業のあと、事業所に戻り、早速一袋200gに丁寧に揃え、商品化します。



バターナッツ

スマイルコーンの設立は2015年。設立に至った過程は、三重テレビ『ゲンキみえ生き活きリポート』2015年8月9日で詳しく放送されていますので引用させていただきます。<http://genki3.net/?p=57403>
《スマイルコーン理事長の大窪久美子さんに、この施設を立ち上げたきっかけをお聞きしました。「私には知的障害の娘がいたのですが、6年前に突然亡くなってしまい、喪失感からうつ状態になっていました。それでも、みんなの元気な笑顔がもう一度見たいと思っていたところ、特別支援学校でお世話になっていた先生から川原田さんを紹介され、お話するうちに障がいを持つ人と農業をしようとなったんです」。川原田憲夫さんは、いちじく農園も経営するベテラン農家で、すでに障がい者の農業による就労体験も行っていました。》

帰り際、川原田さんから事業所の庭で栽培している「綿」を見せていただきました。ちょうどオクラに似た淡い黄色の花が咲いていて一日でピンクに変わるそうです。現在、試験的に栽培しているが、綿花から繊維に加工する作業が将来視覚障害の人たちにもできる可能性を探りたいとの話を聞き、6次産業化を見据えた農福連携への川原田さんの思いに改めて触れた一日となりました。
(事務局 森山)

三重県障がい者就農促進協議会
〒514-0003
三重県津市桜橋2丁目142
三重県教育文化会館1F
Tel.059-253-4187 fax059-253-3359
E-mail mieshuno@dune.ocn.ne.jp
HP <http://mieshuno.net/>